

令和 5 年度

「運営に関する計画」



大阪市立弁天小学校

令和 5 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本年度の大坂市小学校学力経年調査においては、同一母集団の経年変化比較で、第3学年および第5学年で前年度に比して社会科で大坂市平均を上回った。しかし、社会科でのその他の学年、および国語科、算数科では全学年大坂市平均に達していない。基礎・基本的な学習内容の確かな定着と「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導法の工夫が必要であり、そのためには指導者が学び続ける態度を養っていく必要がある。不登校児童については現在はいないが、児童一人ひとりを大切に寄り添った組織的対応を行うために、常に組織としての対応の在り方を見直し、安全・安心な生活環境づくりに取り組む。

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。
- 令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を令和 4 年度末より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における各学年の各教科の標準化得点を、いずれの学年も令和 4 年度よりも 4 ポイント向上させる。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査の平均正答率(平均点) 7 割以下の児童を、いずれの学年も令和 3 年度より 3 ポイント減少させる。
- 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を男女ともに令和 4 年度より上回るようにする。 (令和 4 年度 男子 : 53.35 女子 : 56.00)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度末の教育アンケート（児童用）の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 100% にする。
- ゆとりの日については、決められた時間までに退勤する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 令和 5 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。
- 令和 5 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度末より減少させる。
- 令和 5 年度の教育アンケート（児童用）における「学校のきまり・規則をまもっていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を 90% 以上にする。
- 令和 5 年度の教育アンケート（児童用）における「学校は楽しい」の項目について、肯定的な回答の割合を 90% 以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を90%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和5年度の小学校学力経年調査における各学年の各教科の標準化得点を、いずれの学年も前年度よりも2ポイント向上させる。
- 令和5年度の小学校学力経年調査の平均正答率(平均点)
7割以下の児童を、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- 令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を男女ともに令和4年度より上回るようにする。 (令和4年度 男子：53.35 女子：56.00)

	R4	R5
3年生	98.9	
4年生	94.8	
5年生	99.0	
6年生	95.1	

大阪市学力経年調査「年度ごとの標準化得点」

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- 協働学習支援ツールを用いた学習を週1回実施する。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を60%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和5年度末の教育アンケート（児童用）の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を85%にする。
- ゆとりの日については、決められた時間に退勤する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立弁天小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和 5 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。</p> <p>○令和 5 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度末より減少させる。</p> <p>○令和 5 年度の教育アンケート（児童用）における「学校のきまり・規則をまもっていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を 90%以上にする。</p> <p>○令和 5 年度の教育アンケート（児童用）における「学校は楽しい」の項目について、肯定的な回答の割合を 90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「いじめアンケート」を活用し、あがった事象について個別に聞き取り、解決についての取り組みを行う。さらに落書き、もの隠しなどの陰湿的な事象が、児童の課題であることを共通認識し、実践を進める。</p>	(いじめへの対応)
<p>指標 毎学期「いじめアンケート」を行い、一人一人の児童との対話を大切にした取り組みを行うことで児童の本音を探り、未解決事象を 0 にする。</p>	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校児童について、校内の組織や子どもサポートネットや関係諸機関との連携を活用し、登校しやすい環境づくりに取り組む。</p>	(不登校への対応)
<p>指標 校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度末より減少させる。</p>	
<p>取組内容③【2 豊かな心の育成】</p> <p>学校生活の様々な場面で自分から進んであいさつをしようとする態度を育てる。(道徳教育の推進)</p>	
<p>指標 児童会を中心とした「あいさつ運動」を学期に 1 回以上行い、教育アンケート（児童用）の「自分から進んであいさつをしている」の肯定的回答を 85%以上にする。</p>	

取組内容④【2 豊かな心の育成】

学校全体で、一人一人の違いを認め合い、豊かな人権感覚を養うとともに、「共に学び、共に育ち、共に生きる」ことを基本としたインクルーシブ教育の推進に取り組む。(インクルーシブ教育の推進)

指標 自尊感情を育み、自他の尊厳や共生社会の実現に向かうことをめあてとした実践(福祉・障がい者理解等)を全学年が行い、教育アンケート(児童用)の「友だちの気持ちを考え、友だちを大切にしている」の肯定的回答を95%以上にする。

取組内容⑤【2 豊かな心の育成】

様々な国の文化を知り、お互いの違いやよさを認め合い、思いやりと協力できる心の育成を図る。
(多文化共生教育の推進)

指標 すべての学年が年一回以上の国際理解教育の取り組みを行う。

取組内容⑥【2 豊かな心の育成】

学校と地域社会のつながり方を工夫し、交流を深める。 (人権を尊重する教育の推進)

指標 各学年での取り組みを学年だよりや学校ホームページ等で周知し、教育アンケート(保護者用)の「学校は地域の方をゲストティーチャーとして授業に招いたり、地域の施設に訪問する活動をしたりして、地域と交流している。」の項目の肯定的回答を90%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立弁天小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力、体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 ○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。 ○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を90%以上にする。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度の小学校学力経年調査における各学年の各教科の標準化得点を、いずれの学年も前年度よりも2ポイント向上させる。 ○令和5年度の小学校学力経年調査の平均正答率(平均点) 7割以下の児童を、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。 ○令和5年度の全国体力・運動能力調査、運動習慣調査における体力合計点を男女ともに令和4年度より上回るようにする。 (令和4年度 男子：53.35 女子：56.00) 大阪市学力経年調査「年度ごとの標準化得点」 	

	R4	R5
3年生	98.9	
4年生	94.8	
5年生	99.0	
6年生	95.1	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>子どもたちが学習に集中し、確かな学力向上に向けて、全校で5分間の視写と5分間の微音読に取り組む。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実)</p>	
<p>指標 全学年の児童が、毎週水曜日に、視写と微音読に取り組み、年度初めと比較して年度末に文字数が増える児童を8割増やす。</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>読解力向上のため、学校図書館を最大限に利用する。</p> <p>(言語活動・理数教育の充実)</p>	
<p>指標 月に1回以上、図書や委員会での取組を活用して、教育アンケート(児童用)「自分から進んで本を読んでいる」の項目に対して、当てはまる児童を前年度から3ポイント向上させる。</p>	

取組内容③【4 誰一人取り残さない学力の向上】

自分の考えを様々な方法(話す・書くなど)で発表する力、人の話を聞いて、自分の考えと比べたり、よりよい考え方を作り出したりする力を身につけさせる。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)

指標 教育アンケート（児童用）の項目について「友達の意見を聞いたり自分の考えと比べたりして発表することができる」の肯定的な回答を80%以上にする。

取組内容④【4 誰一人取り残さない学力の向上】

英語の力を伸ばすために、毎週のモジュール活動を通して、聞く力と話す力を向上させる。

(英語教育の強化)

指標 教育アンケート（児童用）の「週2回の英語モジュール活動を楽しんで取り組んでいる」を肯定的な回答を80%以上にする。

取組内容⑤【5 健やかな体の育成】

体育的行事や児童集会を活用して、運動好きの児童を育てる。

(体力・運動能力向上のための取組の推進)

指標 体育の授業を工夫したり、年3回委員会主体の体育的行事を計画的に行ったりして、令和5年度末の教育アンケート(児童用)で、「運動が好きですか」の項目において、肯定的な回答を80%以上にする。

取組内容⑥【5 健やかな体の育成】

児童の規則正しい生活習慣が身につくよう、朝食の大切さを指導・啓発する。

(健康教育・食育の推進)

指標 教育アンケート(児童用)において、「毎日朝食を食べていますか」の項目に対して、肯定的に捉える児童の割合を7割以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立弁天小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協働学習支援ツールを用いた学習を週 1 回実施する。 ○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を 60%以上にする。 <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和 5 年度末の児童アンケート（児童用）の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 85%にする。 ○ゆとりの日については、決められた時間までに退勤する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。 	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>情報活用能力一覧に沿って授業を行い、ICT(パソコン等)を活用した教育の推進を図る。 (ICT を活用した教育の推進)</p> <p>指標 教育アンケート（児童用）の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 85%にする</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>会議や研修会のもち方を工夫するとともにゆとりの日を設定し、実施する。 (働き方改革の推進)</p> <p>指標 ゆとりの日は 18 時までに退勤する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	